



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。 **(徳育)**
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。 **(知育)**
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。 **(体育)**

○ 平和学習会を実施しました。

9日(土)に平和学習会を実施しました。朝からの大雨が心配されましたが、生徒たちは元気に登校し、平和学習会、記念式典の視聴、黙祷、真城中学校平和宣言の確認を行うことができました。やはり、8月9日に平和について学ぶことには大きな意義があると考え、土曜日ではありますが登校日として設定しています。



長い時間をかけて準備をしてくれた実行委員の生徒の頑張りや、放送とスライドが一体となった発表や、よく練り上げられた「**真城中学校平和宣言文**」に、多くの生徒たちが引きつけられていました。平和学習に臨む生徒たちの背筋も、写真のようにしっかりと伸びており、平和の尊さについて、一人一人が意識を高めることができたと感じました。

また、校長講話の中で、次のような話をしました。

自分たちの力で、「世界を変える」、「世界を動かす」というのは、なかなか実感がわかないと思います。しかし、今日の平和学習会、そしてその延長線上にある、広島・長崎の平和祈念式典は、紛争中の世界の国々でさえも、その立場の違いを超えて動かす力を生み出しています。そして多くの国々の代表が、被爆者の方の声を直接聞き、黙祷や献花を行い、平和への祈りをささげます。これは、私たちの平和への取組が、世界を動かしたのだと確信しています。

この真城中学校の平和への取組は、間違いなく世界へつながっているという自信を持ってほしいと思います。

※次のページで、真城中学校平和宣言文を紹介します。

諫早市立真城中学校 平和宣言文

澄み渡る青空、清らかな水、そして輝く太陽に見守られ、私たちは今、平和で楽しい毎日を過ごしています。しかし、この平和な日々は、80年前に起きた悲しい出来事の上に成り立っていることを、私たちは決して忘れてはいけません。1945年（昭和20年）8月9日午前11時2分、1発の原子爆弾によって7万人もの尊い命が奪われました。

原子爆弾は人々の家族や友人、将来の夢や希望、幸せな生活、それら全てを奪い取り、長崎の街を一瞬にして地獄に変えてしまったのです。その辛く悲しい出来事から80年。長崎の街は、生き残った人々の懸命な努力によって、美しい街へと生まれ変わりました。

しかし、世界各地を見渡してみるとどうでしょうか。今もまだ続いているロシアとウクライナの戦争、そしてパレスチナとイスラエルの対立など、世界各地での戦争や紛争は今もなくなっています。国際情勢も変化中、私たちにとって「戦争」が遠いことではない」とさえ感じます。

平和とは、戦争がない状態だけを言うものではありません。平和を脅かす問題は、私たちの身近なところにも存在しています。先日、3年生が、総合的な学習の時間に「共生と平和」というテーマについて、SDGsの視点から調べ、発表しました。この中で、戦争が原因で、貧困状態に陥ったり、多くの人々の人権が侵害されたりして、安心・安全な生活が奪われている人たちがたくさんいることを知りました。そして、SDGsの項目が、このような問題を解決するための目標であることも学びました。

2017年7月に、国際連合で核兵器禁止条約が122カ国の賛成を得て採択されました。しかし、日本政府はこれに不参加の立場を表明しています。このような日本に対し、唯一の戦争被爆国として、被爆者の声を世界に届け、核兵器の廃絶に向けて具体的な提案をするべきだ、との声も上がっています。

また、被爆地である広島・長崎だけでなく、日本国内で、この条約に署名・批准（ひじゅん）するべきだ、との声も上がり、日本各地で集会や運動が行われています。時が経つにつれ、戦争の悲惨さを体験された方々も少なくなってきており、長崎や広島以外の人たちは、原爆の恐ろしさを知らない人さえいます。長崎に住んでいる私たちが、戦争や核兵器の悲惨さを学び、世界に伝えることで、世界の人たちが幸せで平和だと感じられる世の中を創っていく努力はできるはずです。

また、私たちの身の回りに目を向けると、何気なく発した言葉やSNS上での表現によって人を傷つけることもあります。一人一人が「思いやりの心」を持ち、助け合い支え合いながら生きていくことで、いじめや差別をなくすことができるはずです。そして、互いに認め合い、協力しながら生きるなど、私たちには、世界の平和のためにできることがたくさんあります。

だからこそ、真城中学校全校生徒で、平和の実現のために次のことを誓います。

平和に感謝し、命を大切にします。
相手の気持ちを考え、思いやりを持って行動します。
歴史を学び、平和の尊さを訴え続けます。

令和7年8月9日

諫早市立真城中学校生徒会

この平和宣言に込められた確かな思いを、毎日の生活の中で着実に実践してほしいと願っています。



今回の「輝継」のタイトルは、1年1組の板床さんの作品です。ダイナミックな中にも細かな工夫もあり、見る人を楽しませてくれます。ロゴの間にいる中学生が個性的です！素晴らしいロゴロゴデザインをありがとうございました。

○ 8月・9月の行事予定

9日(土) 全校登校日 平和学習

10日～15日 学校閉庁期間

17日(日) 家庭の日

21日～26日 授業日

25・26日 実力テスト

9月 1日(月) 2学期始業式

2日(火) 総務任命式

5日(金) 修学旅行説明会(2年生)

6日(土) 市中総体新人大会(水泳)

市中総体新人大会(リフトニス・個人)



11日～17日

市小中科学展

(美術歴史館)



15日(月) 敬老の日(祝日)

21日(日) 家庭の日

23日(火) 秋分の日

26日(金) 選手激励会(市中総体絵駅伝)

27日(土) 市中総体新人大会(リフトニス・団体)

いよいよ夏休みも後半です。2学期が始まる準備に取り組んでほしいと思います。特に、生活リズムを整えることを意識して、起床・就寝時間、メディアの利用時間などに意識するようお願いいたします。